



INTERIM BUSINESS REPORT

2022年8月期中間
2021.9.1 - 2022.2.28



株式会社 **コシダカ** ホールディングス



証券コード2157



新たな事業提携を基礎に、
企業価値向上に向けた
新たな挑戦を推し進めてまいります。

代表取締役社長 腰高 博

Q.1 当上期の業績と、主力のカラオケ事業の状況を教えてください

当期も、コロナ禍の影響を強く受ける中での経営となっております。主力のカラオケ事業では、「緊急事態宣言」の中、2021年9月は大半の店舗が休業となり、非常に厳しいスタートとなりました。

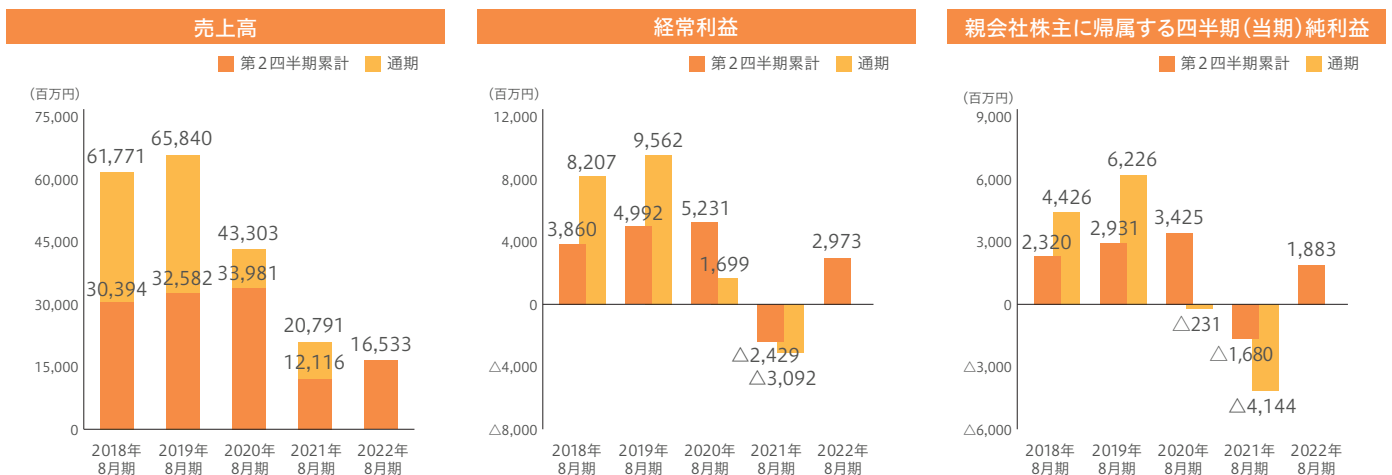
しかし、10月の通常営業再開後は、来店客数が急速に回復し始め、売上・利益とも好調に推移したことに加えて、12月には、カラオケ事業の売上高は過去最高月商を記録しました。これは、首都圏を中心とした駅前繁華街への継続した出店や、集客力の高い店舗の増室・増床など、積極的な店舗政策を行ってきたこと、そして国の基準を上回る能力を持つ換気システムの増強をはじめとした様々なコロナ対策を他社に先駆けて積極的に展開してきたことなどが、大きな効果を発揮したものと考えております。

2022年に入ってから、急速なオミクロン株の感染拡大に伴って、政府から「まん延防止等重点措置」が発出されたことで、来店客数が再び減少に転じるなど、厳しい状況となりましたが、こうした状況下におきましても、当上期の連結業績は、大幅減収

および上場来初の営業赤字となった前上期の状況を脱し、売上高は前年同期比36.5%増の165億33百万円、営業利益は黒字転換し2億75百万円となりました。ただ、売上高・営業利益ともにコロナ前の水準からはまだまだほど遠い状況にあり、当面は従業員の雇用を守りながら経費抑制等を行うなど、経営の持続性を確保するための“ウィズ・コロナの経営”に注力してまいります。その一方で、コロナ禍の厳しい事業環境を“市場シェア拡大のチャンス”と捉え、「慎重かつ果敢な出店」を引き続き実行していきたいと考えております。当上期は34店の新規出店を果たし、うち、27店が駅前繁華街への出店となっております。

なお、大幅に遅れていた昨年度に関連する協力金の地方自治体からの支払いが年明けから進んだことで、当上期の経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はともに当初予想を上回り、それぞれ29億73百万円、18億83百万円となりました（前上期はともに赤字決算）。

業績ハイライト



※ 2020年8月期第2四半期末までの業績については、2020年8月期第2四半期末を基準日として当社子会社株式の現物配当（スピンオフ）を実施したカープホールディングスグループの業績も含んでおります。

Q.2 中期経営ビジョンへの取り組み状況はいかがですか

中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の実現に向けて、当社グループは、①店舗網の拡充とカラオケルーム数の拡大、②各種エンターテインメントの提供、③人財の採用と育成、の3点を重点課題と位置づけ、積極的な取り組みを進めております。①については、前述の通り、コロナ禍にあっても積極的な出店を継続しており、③については、昨年行った社員研修センター「まねき塾」の東京移転を基礎に、今後の採用拡大に対応可能な教育体制の強化・整備も進んでまいりました。

②については、カラオケルームからPER(プライベートエンターテイメントルーム)への進化に向けた、新コンテンツの導入が順調に進んでおります。当期は新たに、「Play Garden」(プレイガーデン)や「ONEREC」(ワンレック)の提供を開始しました。前者は、カラオケにダーツやビリヤードなどを併設した、“本気で遊べる屋内アミューズメント施設”を志向して作られた店舗で、出店はまだ22店舗ながら、多くの反響があり、新形態としての手応えを感じております。

Q.3 アドバンテッジアドバイザーズとの事業提携が始まりましたが、目的・狙いなどをお聞かせください

アドバンテッジアドバイザーズ株式会社との事業提携については、2021年3月頃に提案を受け、同年9月頃から本格的な検討を開始して、提案から1年後の2022年3月より事業提携がスタートいたしました。

当社における最も重要な経営テーマは、中期経営ビジョンを確実に遂行し、企業価値を向上させていくことであり、これを実現していくための喫緊の課題は、高度人財の積極的な採用と永続的な成長を維持しうる組織体制づくりであると認識しております。

そして、こうした取り組みを実行していく上で、強力な事業パートナーが必要不可欠であるとの認識に至り、当社が最適であると判断いたしました。同社との事業提携を基礎に、当社は今後、真に求められるエンタメの体験価値を創出するべく、様々な施策を推し進め、中期経営ビジョンの早期実現を目指してまいります。なお、当事業提携と合わせて、同社に対する第三者割当による資金調達(合計約70億円)を実施し、今後の積極的な成長戦略に向け、財務面でも万全の体制を整えております。

Q.4 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします

株主の皆様への利益還元につきましては、安定配当の維持を基本に、当第2四半期末の配当金を1株当たり4円(前年同期比2円増配)とさせていただきます。また、期末配当についても4円(年間配当8円)を計画しております。業績の本格的な回復と新たな成長軌道の創出を早期に実現し、より一層、株主の皆様のご支援にお応えしてまいりたく存じます。

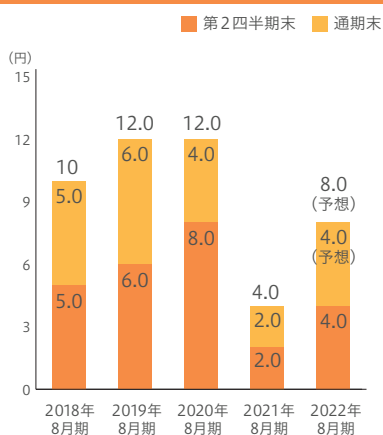
アドバンテッジアドバイザーズとの事業提携により、新たな

挑戦の幕が開きました。時をほぼ同じくして、4月からは東証の新市場区分「プライム市場」の上場企業としての歩みも始まりました。

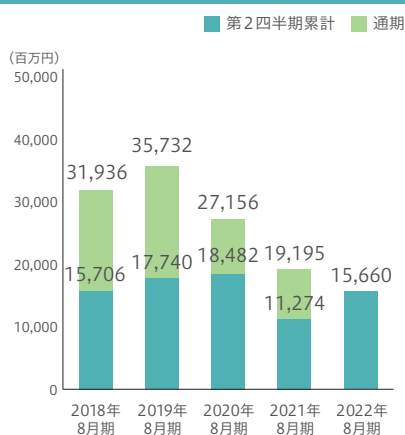
世の中も、当社グループも、大きな転換点を迎えております。グループ社員一同、改めてベンチャー精神を胸に、新しい時代の創造に邁進してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

カラオケセグメント業績

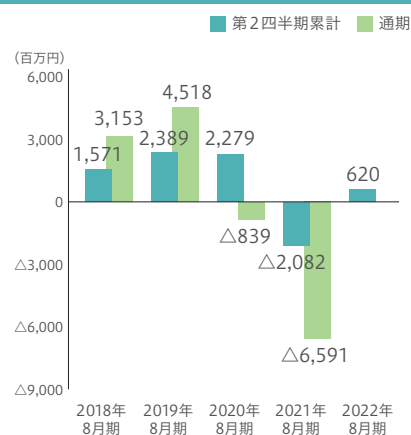
1株当たり配当金



売上高



営業利益

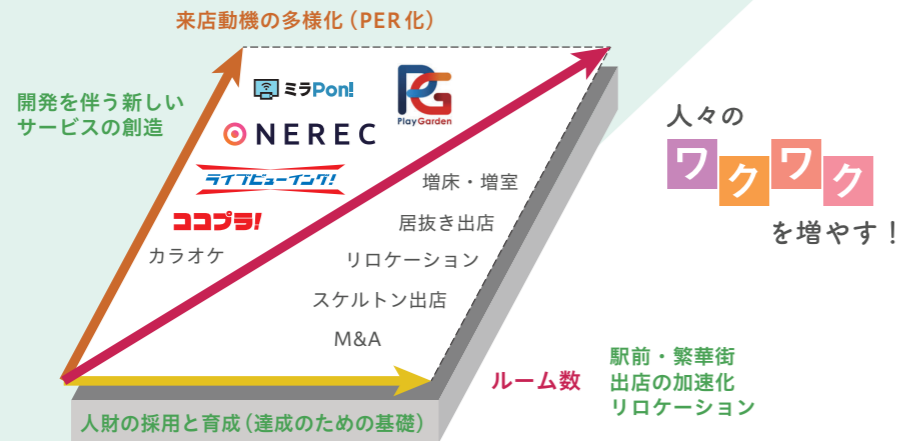


アドバンテッジアドバイザーズとの 事業提携をベースに、中期経営ビジョン 「エンタメをインフラに」の早期実現へ

2022年2月、当社はアドバンテッジアドバイザーズ株式会社との間で
事業提携契約を締結し、同年3月、同事業提携がスタートを切りました。
今後は、アドバンテッジアドバイザーズとの事業提携を
強固な基盤としながら、中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の
早期実現を目指して、多様な取り組みを推し進めていきます。

エンタメをインフラに

— Entertainment as Infrastructure —



当社の目指す事業戦略

今後の成長に不可欠な 組織体制の構築を基礎に、
既存事業の価値向上に加え、リアルとデジタルの両輪で
新たな体験価値の創出を図る

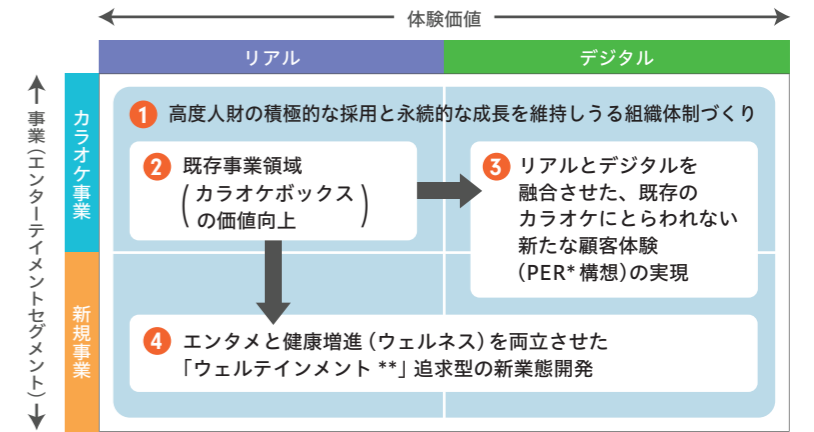
まず、成長基盤として、高度人材（各種スペシャリスト）の積極的な採用と永続的な成長を維持しうる組織体制づくりを推し進めます。これを基礎に、具体的な事業戦略として、第一に、既存事業領域であるカラオケボックスの価値向上に向け、出店地域拡大、デジタルマーケティング強化、店舗開発体制強化等に取り組みます。第二に、既存のカラオケにとられない新たな顧客体験（中期経営ビジョンにおけるPER構想）の実現に向け、リアルとデジタルの融合を推し進めます。第三に、消費者の行動変容を踏まえた新たなエンタメ体験価値の創出に向け、エンタメと健康増進（ウェルネス）を両立させた「ウェルテインメント」追求型の新業態開発に取り組みます。



事業提携の目的

アドバンテッジアドバイザーズのノウハウを活用し、成長を加速させ、
さらなる企業価値の向上を目指す

当社が認識している経営課題の解消や中期経営ビジョンの遂行に対し、緊密な事業提携・高度なアドバイスを受けることができ、当社の企業価値の向上を図ることが可能であると考えられる事業提携先として、アドバンテッジアドバイザーズを選定しました。同社は、複数の上場会社への戦略的なアドバイスの提供実績を有しており、当社は、同社から受けるノウハウを活用することにより、成長加速を図っていきます。アドバンテッジアドバイザーズとの事業提携によって、当社は、今後考え得る消費者の行動変容を踏まえ、真に求められるエンタメの体験価値を創出していくことで、新たな成長を実現し、さらなる企業価値の向上を図っていきます。



* PERとはPrivate Entertainment Roomの略語であり、中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の下、カラオケにとまらない様々なエンタメを提供する場を指します。
** ウェルテインメントとは「ウェルネス」と「エンターテインメント」を掛け合わせた造語で、楽しみながら（エンターテインメント）、健康（ウェルネス）を増進することを指します。

アドバンテッジアドバイザーズとは

アドバンテッジアドバイザーズは、国内のプライベート・エクイティ・ファンドのパイオニアであるアドバンテッジパートナーズグループの中で、上場企業の株式を取得するとともに経営陣と一体となって企業価値向上に取り組む投資戦略（上場企業成長支援プライベート投資）を担当しております。

戦略的パートナー ▶

- ・株式会社日本政策投資銀行
- ・株式会社NTTドコモ

投資実績 ▶

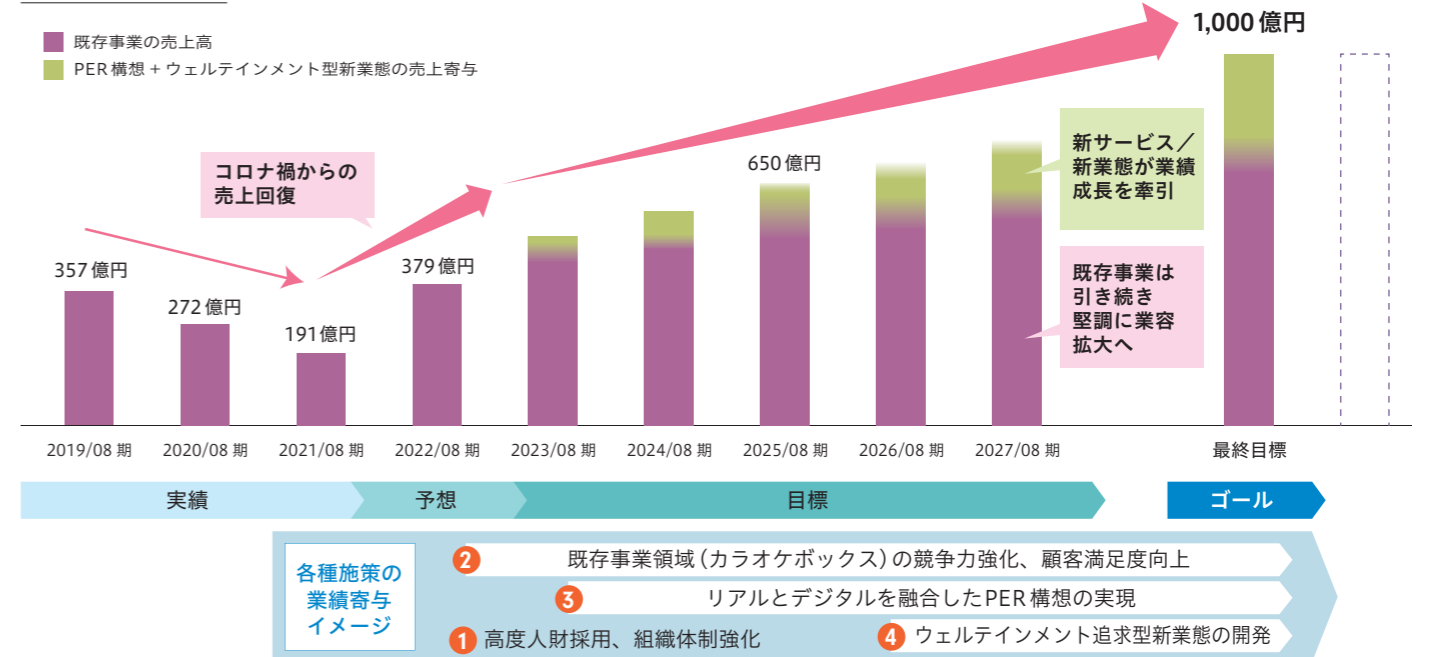
- ・株式会社イトーキ
- ・株式会社サンマルクホールディングス 他

事業計画 長期目標の早期実現

既存事業の拡大と新サービス／新業態による
業績成長牽引により、
長期目標「売上高1,000億円」の早期実現へ

今般の事業提携のもと、中期経営ビジョン実現に向けた取り組みをより積極化させていきます。前述の4つの取り組み（成長基盤構築+3つの事業戦略）を右図のように、随時推し進めていくことで、コロナ禍からのV字回復後の成長を加速させていきます。既存事業においては、駅前繁华街を中心とした出店と出店戦略に対応した人材の採用・育成を引き続き積極的に行い、カラオケ業界ダントツのNo.1としての地位を確立していきます。加えて、新たなエンタメ体験価値を随時創出し、新サービス／新業態として立上げていくことで、業績成長を中長期的に牽引していきます。こうした取り組みにより、長期目標である売上高1,000億円の早期実現を目指していきます。

当社の事業計画の概要



- 各種施策の業績寄与イメージ
- ① 高度人材採用、組織体制強化
 - ② 既存事業領域（カラオケボックス）の競争力強化、顧客満足度向上
 - ③ リアルとデジタルを融合したPER構想の実現
 - ④ ウェルテインメント追求型新業態の開発

Information

会社の概要 (2022年2月28日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
 設立年月日 1967年3月31日
 東京本社 東京都港区虎ノ門四丁目3-20
 神谷町MTビル17階
 前橋本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
 資本金 20億7,025万7,500円
 事業内容 カラオケ事業(店舗数: 国内584店舗、海外12店舗)
 温浴事業(店舗数: 3店舗)
 従業員数 グループ従業員 3,548名
 (正社員 772名、パート・アルバイト 2,776名)
 パート・アルバイトは1日8時間換算人数

役員 (2022年2月28日現在)

代表取締役社長 腰高 博 社外取締役(常勤監査等委員) 西 智彦
 常務取締役 朝倉 一博 社外取締役(監査等委員) 森内 茂之
 常務取締役 腰高 美和子 社外取締役(監査等委員) 高井 研一
 常務取締役 土井 義人
 取締役 座間 晶

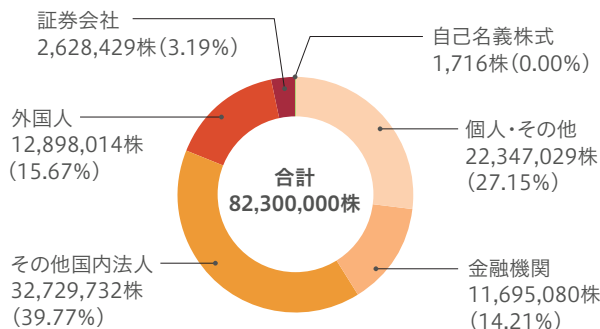
大株主 (上位5名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	21,328,000	25.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,416,700	9.01
株式会社ぶくる	7,028,000	8.54
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	5,944,659	7.22
腰高 博	2,340,000	2.84

株式の状況 (2022年2月28日現在)

発行可能株式総数 307,200,000株 株主数 39,398名
 発行済株式の総数 82,300,000株

所有者別株式分布状況 (2022年2月28日現在)



株主メモ (2022年2月28日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎年11月下旬
 基準日 毎年8月31日
 定時株主総会・期末配当
 中間配当 毎年2月末日
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 住所変更のお申し出について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

カラオケまねきねこ 公式アプリ 大幅リニューアル!

お持ちのスマホで簡単にオーダーできる『まねき de オーダー』や、新しいゲームを追加! より使いやすく楽しくなりました!!

まねき de オーダー ミニゲーム

株主優待のご案内

2022年8月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上の株式を保有されている株主様に、下記の株主優待の実施を予定しております。



保有株式数	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株~399株	2,000円相当の株主優待券*	4,000円相当の株主優待券*
400株~999株	5,000円相当の株主優待券*	10,000円相当の株主優待券*
1,000株以上	10,000円相当の株主優待券*	20,000円相当の株主優待券*

*株主優待券は、当社の運営する日本全国のカラオケまねきねこ、ひとりカラオケ専門店ワカラ、温浴施設をご利用いただけます。なお、「継続保有期間3年以上」に該当する株主様とは、毎年8月末日及び2月末日の株主名簿に「同一の株主番号」で連続して7回以上記載または記録された株主様となります。



株式会社コシダカホールディングス

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3-20 神谷町MTビル17階
 電話 03-6403-5710(代) Fax 03-6403-5727



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。